

幅広い人と交流―視野広がる

小田製作所生産企画部の鈴木課長は、金型の修理を振り出しに機械加工で仕上げ、組み付けの金型に関する生産現場を幅広く経験してきた。現在は金型の加工機械を動かすためのデータ制作などを担当し、生産現場を熟知した上で金型製作の工程などを通じて指導される存在だ。

鈴木課長は「当社は顧客から小回りがきくといった体制が評価されている。自身は、修理を組み付けの経験も豊富で、顧客とも頻りにコミュニケーションを取ることを心がけてきた。顧客の難を思い浮かべると、心をこめて仕事ができる」と強調する。

金型マスターについて鈴木課長は「特種の下場場のことを理解しつつ、経験的な視点も持つて今やベテランを育てられる人材と日本前産業会員も求める同僚の小出課長との思いを踏まえ、捉えている」。

鈴木課長は「金型マスターにならなくて、異業種で勉強、工場見学などを通して幅広い人と交流できるような環境が広がったと多くのお客様の御礼も得て、仕事に生かしている」。

今後、金型マスターとして力を入れていきたいのは金型に関わる人材をいかに育成していくかだ。若手に対してだけでなく、指導者の育成も欠かせない。特に同社は長年にわたる電気自動車（EV）



小出製作所 鈴木 克征さん

シニア金型マスター 熟練の技

生産工程を俯瞰―進化支える

共和工業事業本部の酒井篤史課長は、金型の技術者を核とした提案営業に注力している。国内外の工場設計から出荷まで、全工程をひとりでこなすシニア金型マスターに選ばれた。現在は主に最新の次元CADの管理を任されている。海外でも金型自体は得意だが、電気自動車（EV）の管理や中国の外郭委託先にも進出している。若手が活躍できる環境を整えている。

酒井課長は「技術職もまたとて、技術職もまたとて、振返る、大切にしたい。のはコミュニケーション。現場で多くの意見を聞き取り、現場での調整が重要だ。現在は国内でも後進育成に励んでいる。若手が活躍できる環境を整えている。若手が活躍できる環境を整えている。若手が活躍できる環境を整えている。」



共和工業 酒井 篤史さん

韓国・中国でも指導

共和工業は、金型技術者を核とした提案営業に注力している。国内外の工場設計から出荷まで、全工程をひとりでこなすシニア金型マスターに選ばれた。現在は主に最新の次元CADの管理を任されている。海外でも金型自体は得意だが、電気自動車（EV）の管理や中国の外郭委託先にも進出している。若手が活躍できる環境を整えている。

酒井課長は「技術職もまたとて、技術職もまたとて、振返る、大切にしたい。のはコミュニケーション。現場で多くの意見を聞き取り、現場での調整が重要だ。現在は国内でも後進育成に励んでいる。若手が活躍できる環境を整えている。若手が活躍できる環境を整えている。」

- 【共和工業】
- ▶事業内容＝熱可塑性樹脂射出成形金型、熱硬化性樹脂用プレス金型製造、開発製作、複合材各種成形金型製造、プラスチックエンジニアリング
- ▶所在地＝新潟県三条市
- ▶社長＝熊谷勇介氏
- ▶電話＝0256-34-4441
- ▶資本金＝950万円
- ▶創業＝1963年8月

指導者の育成にも尽力

鈴木課長は「昔は目で見て遊め」と教えられたが、今の新人には「多岐にわたる知識を教える」といっている。と聞き取り、世が変わる中でいかに途絶えるかに指導を絞っている。

- 【小出製作所】
- ▶事業内容＝ダイカスト用、鋳造用金型の設計・製作
- ▶所在地＝静岡県岡部市
- ▶社長＝小出悟氏
- ▶電話＝0538-37-1147
- ▶資本金＝1560万円
- ▶創立＝1972年3月